図書館だより

埼玉県立図書館

14号



喜多院のだるま市(川越市企画課広報係提供)

開かれる さず のもこの頃である。 なかで のもこの頃である。 なかで

開かれる遠磨市は特に有名である。 さてこの遠磨さんにまつわる語りぐさは多い。あの足もなく、目玉だけをギョロつかせている、一種異様さがこういわせたのか、いやもっと深い意味がある。ダルマとは、印度パーリー語のダンマー(正しい法)の伝であり、一般的には真理の意である。従い真理を寿ぐお般的には真理の意である。従い真理を寿ぐお祭りが遠磨市であろう。そういえば子供心に禁りが遠磨市であろう。そういえば子供心に禁ったが、あの「ニラメッコ遊び」に、着ぶくれた童顔を真赤に脹らませた、あの頃がなつかしく蘇る。遊びはただ夢中だったが、 祖達磨大師の、壁に向って九年座禅し通し、 っているようだ。何んと今おもえば禅宗の開い笑うとぶつぞ…」という末尾の語がものをい して残してくれたもの、 子の魂にも自然に育つよう、先祖達が語りと 遂に悟りを得たという、真剣な静座を、 また新春の一月を期

編集·埼玉県立図書館 発行·埼玉県立浦和図書館

館長 木村繁蔵 浦和市高砂3-1-22

達智

昭和57年12月15日

広報委員会

0488 29 2821

業務内容・蔵書などすべての面で 業務内容・蔵書などすべての面で 、大規模な図書館に比べるとまだま だ比較になりませんが、公民館図書 室の機能の点から考えますと、利用 者数も順調な伸びをみせ、その運営 は軌道に乗りつつあります。 図書購入費としては、昨年に続き 本年度も二百万円の予算を計上し、 本年度も二百万円の予算を計上し、 でて図書を購入(年二回に分けて購 行われるため、それに伴い図書室も 行われるため、それに伴い図書室も ともしばしばです。また明るい室内

県内図書館めぐり

17

宮

髙

成

1 4 人 日の 中でイザ

第14号 第14号 り替えていくことも一っの態度では り替えていくことも一っの態度では かた深い思想を読みとる、といった執 のて深い思想を読みとる、といった執 ので深い思想を読みとる、といった執 ので深い思想を読みとる、といった執 解和 で深い思想を読みとる、といった執 解和 で深い思想を読みとる、といったものと 変容 湿潤でお ぐる物。 春夏秋冬」 いる。 少納言の 繊細優美な感性を豊かに培っていておおかた温暖なこの国の風土の。四季の巡りが規則正しく、 ペ」であって…… 4 0) い言う通り「ただい言う通り」 サン 2 「ただ過ぎに過 う気が 人の齢、 と言っ する。 人とは

いるように思う。印の国民性に一つの問だィアは一般的にい 印刷の氾濫は近いって、このほしいって、この 活けて面メ

> への畏敬されつってかなり をつ はある 発達、 安易な娯楽をのみに駄して なり 図書の洪水は喜ばし なめない。 視聴メ つ をな 0 読書の面に、 あ 7 3 は喜ばしいことで 視聴メディアの 視聴メディアの 視聴メ 良書は 加 過性の えて、 悪書に とテ追

想像し、推量し、帰結を求めながら筆者の意図に迫っていく読書という作業は、視聴メディアの受容に比して多分に労苦のいるものであるが、それゆえにまた楽しいことである。以前に読んだ本、その時なりに味わった文章を、年経て再び読み、更に解釈を深くすることは読書ならではといってもよい世界である。自己の変容が恐ろしいまでにこの解釈にかかわるわけで、読書は常に自己の成かわるわけで、読書は常に自己の成を共に深まる。もちろん、視聴メディアの受容もそうではあるが到底が告と責しで刊った意也まど表し

2

んれる方が

といつ

7

もよ

かってい であろ 3

たは既に読書

読書の労苦はそ

< って 12

ながら好んで欠乏を招く者はいない だろうし、危機を招くこともないこ だろうし、危機を招くこともないこ とである。そうなるといよいよ書物 深まったといえよう。読書は究極的 には自己の問題であるが、書物の世 には自己の問題であるが、書物の世 の会にまつところは多大であろう。 それぞれが立ち向かった読書からの それぞれが立ち向かった読書からの 気力がなくなってします。 て大きな意義を持つだろうして大きな意義を持つだろう。 での読書が揺れ動くのである 強い緊張関係のうちに読 い中にいる時こそ、書物の中にいる時こそ、書物の中にいる時にそれであった。 はずるのだ。 そうしてそのがあった。 とがあった。 とがあった。 とがあった。 とがあった。 とがあった。 での読書の 発揮されるのだ … なことを考えて 0 民」までも 緊張関係のうちに読書 挫折があっ やしい次第である。 しまった。 最近とみに大 とおす力がなくなり とおす力がなくなり ・などと。 しかし ちに読書の本領が 次第である。 意義は って、 高級は極め のるから… う 人は 境ル どう

(飯能市立図書館長

ものかと。

た境地ほど楽 りに おおかた筆者も理解していないことなのだろう……――というないことなのだろう……――というが、読書をすすめていく上においてが、読書をすすめていく上においてっている。このごろ、ふとこんをこ それには何よりも数多くの、自己のそれには何よりも数多くの、自己の求める書物を読んで読みぬくことであろう。その間にあっては『私の読書法 ― 大内・茅(岩波新書)』の中で、吉田洋一氏は、――読みかけて、どうにもおもしろくない(納得のいかない)ものはまた投げうつ。さらに時をおいて読んでみてわからぬものは、おおかた筆者も理解していないことなのだろう……――というないことなのだろう……――という こにはな 私もそうありたいと願 いるったものの中からは生まれ難いもつもったものの中から n

5,, 100

所在地 妻沼町大字妻沼277 TEL 0485-88-2044

妻沼町立中央公民館

町民の文化 中公民館が昨 中公民館が昨 でき した。窓から した。窓から した。窓から

れ、閑静な環境に囲まれてできる図書室が開始されまできる図書室が設置され、できる図書室が設置され、できる図書室が設置され、のの図のできる図書室が設置され、からは、四季折々の田園風が昨年四月、町の中心部に

窓から

に第四回「本を読む県民のつどい」 に第四回「本を読む県民のつどい」 が東松山市で行われた。 この催しは、読書により生活を豊かなものにし、本に親しむ習慣を養かなものにし、本に親しむ習慣を養い、図書館協会、県読書推進運動協議会、県をで四回目を迎えた。 この日、会場である東松山市教委、県内の説書がお読書会」の参加者を前に、主催者のおいた。 造者二十名(別記)の表彰と優良読書がわお読書会」の表彰と優良読書を行った。このあと、県 選者三十名(別記)の表彰と優良読書がわれた。 さんが、五木寛之著「鳥の歌」の感と、県内の読書を代表して、が異白いには、県内の読書があり、また、「ときがお読書会」の表彰と優良読まる。 会長岡野勝一郎さんによる読書会」の本と、県内の薬野が表した。このあと、県 は会教育課藤井課長と、歌人の歌」の感と、県内の事例発表が行われた。

四 「本を読む県民のつどい

や記念講演で盛会裡に終わる

た講演は、参加者に感動を与えた。『これから期待される人間像』-私の歩んだ道を通して-で、体験を通して語られる熱っぽい力の込められ



養保子(坂戸市) (五十音順) 養保子(坂戸市)、衛沢市)・連頭幸子 (岩槻市)・柳川利光(戸田市)・山崎 養保子(坂戸市)・柳川利光(戸田市)・山崎 (岩槻市)・柳川利光(戸田市)・山崎 (岩槻市)・柳川利光(戸田市)・山崎 (岩槻市)・柳川利光(戸田市)・山崎 (岩槻市)・柳川利光(戸田市)・山崎

県立図書館の年末・年始の休館

H

の土

WD:

Ti.

県立図書館特別休館日

〇科学文化映画会

○名作子供映画会

じょうるり」ほか

1月8日(土)0時~1

「典子は今」

月8日出3時

30

内容

門倉訣

(春日部市)

玉 郷土の作家と作品

赤木健介 ○作詞· 会田綱雄 文学関係に焦点をあててまとめまし 「鹹湖」 作詞· 回に引続き、 (微は、文学賞受賞者) 詩歌 詩歌·短歌·俳句·児童 「遺言」「現代詩集」 (川越市) (狭山市) 県外出身作家のう N

伊藤静馬 石原市郎 大木 実 「屋根」 いらつきょ (上福岡市) 電 (富士見市) 「遠雷」「夜半の声 (大宮市) 畑」「ゆめどの」 の東洋詩人たち」

鈴木敏夫 神保光太郎 藏原伸二郎 「幸せはまるいもの」 「岩魚」 「けやきと鳩と少年と」 「東洋の満月」 「鳥」「埼玉詩集」 (浦和市) (新座市) (飯能市) N

Ð 伊藤嘉夫 「山家集」 大西民子 鷲巣繁男 鈴木幸輔 升越健之輔 「定本・ 「長風」 「季冬日々 「感傷旅行」 「おまえはどこにいるか」 「羽虫の飛ぶ風景」「鶫原抄」 「名詩のす 「花酔」 鷲巢繁男詩集」 (大宮市) ベイン (浦和市) (上尾市) (狭山市) (大宮市) (大宮市)



(越生町)

简井敏雄

槻野けい

「現代詩入門」 N TO 「心眼」

00

「わが愛する歌人」 N

高空10000mのかなたで

「青い鳥」

「咸臨丸出航」 A

岡田日郎 長谷川かな女(浦和市) 〇児童文学 「竜胆」 「水晶」 「握手」 「定本・かな女句集」 「山の俳句歳時記」

太田博也 「高空一○○○○mのかなたで 「風ぐるま 「なつみのきいろいかさ」 (久喜市) (志木市) ② 「白い羽の記

Ⅲ海達哉 さねとうあきら 「ジャンボ・コッコの伝記」ねとうあきら (所沢市) (浦和市) ① 00

瀬田貞二 「チッチゼミの鳴く木の下で) (浦和市) ①

(岩槻市) 「青い空」 TO

「生きていくこと」 「ナルニア国ものがたり」

物語

本童話集」

(深谷市)

十

00 ス

(六巻)

3

磯貝碧蹄館 「与えられたる現在に (浦和市) 紫綬褒章 N

新冬二 (所沢市)

「たろうの日記」 (浦和市) 電

(訳)

心景」

平井芳夫 早船ちよ 藤田千津 -井芳夫 (浦和市) 「キュ 「終りのな 「のんのんのあさがお ボラのある街」 い道 (浦和市) (所沢市)



(浦和市)

根本正義 吉田新一 横谷 輝 (所沢市) 魚 〇児童文学評論 吉田タキノ 「光のように風のように」 「クリミアの天使」 「児童文学 「鈴木三重吉と 吉と『赤い(朝霞市) への問いかけ」 (所沢市) (川越市) (訳) (11)

公月3000 主な

県立浦和図書館

〇冬休み子供映画会

日時 内容 「オズのまほう使い」 月6日休13時30分 ほ

12月24日金14時~

か

(避難)

日時 101 ング・ストーンズ」

曜名作映画会 レュー いな仲間 ティフル・ビ 12 県立川越図書館

〇冬休み親子映画会

1月7日金10時~ 「青い目の人形」

14 時 ・「おこん

||県立熊谷図書館 1月20日(水) 14時~ h ほ 内容 日時 内容 「われら竜南の子」 日時 1月20日休14時~

1月21日金12時15分-しほか 舞踊

は平常どおり行っています。なおただし、移動奉仕課・一般事務

ポストを御利用ください。

〇県立川越·同久喜図書館

内容 日時

「スキー上達の新しい練習法12月17日逾12時15分~

日時

1月21日金14時~

さとに歌はながれる」ほか

「ふる

内容

昭·58年3月9日冰~3月18日金

昭·58年2月23日水~3月4日金

〇県立浦和·同熊谷図書館

〇映画会

ます。

休止いたしますので、

お知らせし

次の期間内は閲覧・貸出し業務を

図書及び機材・器具整理のため

内容 日時 ·演技

日時 内容 内容 02 12月25日出3時30分-2月18日金12時15分~ 「カセットで聴く松本消張」

> 内容 日時

演題

「感性と文化」

○児童文化講座

月25日火13時~

15時30分

内容 日時 内容

海峡を結ぶ」ほか

地震の知識と対策」・

「津軽

「これだけは知っておこう

内容 2月26日出3時30分~ 「グレン・グー (1-月29日出3時30分 ルドベルク変奏曲) ルド(ピアノ)」

内容 日時 県立久喜図書館 〇名画鑑賞会

分

日時 7 月 26 日 出 「三本足のアロ 月8日出 10時 10 13 時 30 13 時 30

分

内容 元 月 川 11 ・ (火) (k) 13 1時30 カーユメン

内容 日時 「埼玉の民俗」 15時30分~

内容 日時 2月8日火13時30分 る金色堂」 「竹縄のさと」 ・「よみがえ

日時 内容 日時 0 2月15日火13時30分~ 「彫る(棟方志功の世界)」 「生活と工芸」 ドコンサ

1月7日逾12時15分~ 1月31日側12時15分~ 1月4日逾12時15分~ 2月4日逾12時15分~ 1日本の詩特集(昭和40年代

内容 内容 日時 の歌) 2月18日金12時15分~ 2月18日金12時15分~ ト名曲集(ハンガ 1)

(定員10名) (定員10名)

講師 田島征三氏(絵本画家)

◎くわしくは、 県立 県立川越図書館 県立川越図書館 県立浦和図書館 ア田園幻想曲)」ほか 各図書館視聴覚課に 0四五一三五一三六七 四八一六一六二

持っていると言われています。今に加え、根深い精神的なしがらる婦人問題は、社会の制度上で見

らみを 字づ

と社会教育

国土

56

神田 昭

道子

女

「労務事情」

編集部編

産業労働調

え、人間

います。

くつ

一つかを紹介してみたいと 婦人問題に関する資料の

戦後日本女性史 新版日本女性史

書

(性の生き

帯刀

貞代著

H

現代婦人運動史年表

編

昭

38

49

伊藤康子

認識

のために

55 方

(新日本新書)

の婦人問題 昭 53

村上信彦著

婦人のあゆみ百年

大月書店

昭 53 日本婦

(岩波新書)

今回は、 題といえま

現代の婦人論 5. (出

大月書

世界女性解放史

石垣綾子

読書グループ紹介

幸

手

は、所詮、童話の創作は、個人会員は、現在六名で、多いとも思っていません。といないとも思っていません。とい もしろい て考えて ぎ書っき 童話を書いてみようと、昭 つま はかりの童話の気臓症を開ける。 かない ってかり かな。 個人の作というの なん 原稿

業なのですから。 それに、いろいろな立場で忙しい 人が多いので、親睦ということも、 あまり望めませんし。 初めは、書くことが主でしたが、 書くためにはたくさん読まなければ と、昭和五十四年に、町立図書館の と、昭和五十四年に、町立図書館の

た回の 例会は、 平のおとぎ話や 児童文学の流

- 舟木先生を囲んで-いけ頭 いうことにしまいられなくて、

時々、あちこちの童話 者の講演会に参加して、 者の講演会に参加して、 人ています。 人工のあげています。 十一月の例会には、海 十一月の例会には、海 は、生前の房介との思い

十一月の例会には、浜田廣介とお付合いのあった、栗橋町の舟木先生に、生前の廣介との思い出話をお聞きすることができました。 こんなふうに、私たちが活動できるのも、図書館の方々が、テキストや会場の手配などしてくださるおかや会場の手配などしてくださるおかった。児童図書をどんどんふやしてく

るやら。 ます。会 、果して、どこまではって行けいう同人誌を年二回発行していて、私たちは、「でんでんむしてい

夢みるでんで む クを訪ねたいと、 たちなのです

しプ民 7 り伝 ム説 ン国 デの ルも せの

童

話

会

それ以上は時 研究と 年間没

あちこちの童話 新美南吉を三ヵ月おきに、小川未明、宮沢賢治、 情報交換 講座や、

ロぶりがうかがったいで、往ば

れるとのことで楽しみですら、児童図書をどんどんふ

つか、 ルセン

てンを読みま

歩

文学散 田舎教師の

周辺

を訪

ねて

文化事業

t

1日水、県北の地を舞台に県 立図書館主催の第四回文学散歩が、 九十四名の参加者のもとに行われま した。今回の文学散歩は、田山花袋 を偲び、郷土文学への関心を深めよ うと計画したものです。 八二十七日(水)、 県立図書館 0 た秋空の



建福寺にて

水城公園の 、得られるやうな 主と悲哀と寂寞とに 花袋旧居はせまいすまいで、往時の花袋の苦しい生活ぶりがうかがわれました。
最後の見学地、田舎教師の墓のある羽生市建福寺は、今も小説の匂いる羽生市建福寺は、今も小説の匂い

学陽書房 女性」 事情 56 恵子 編 著

婦人労働者の権利

萬井隆令著

センタ

昭 56

(職場の判

例 労

各国

女が仕事に生きるとき 労働における女性 昭 57 橋瑞恵著

> コンピュ 労働法6)

ター

0

Aと女性労働

昭和57年12月15日

ジュリスト

No七二五

男女平等

0

(三二新書)

差別のなかの女性

底辺

13

八木晃介著

書房 を歩

昭 53 た母

女性の幸福と憲法

笹

野貞子著

法

昭 57

91

-と女性労働者を考え

える会

7

E

有變閣

昭 55

資料を通して

人問題を考える

女性と教育55

制度上の問題

社会教育

№二八六

婦人問題

職業教育 研究会報告についての労労働法改正問題と女子保 埼玉県における女性の職業選好度と 埼玉県社会経済総合調査会 の実証的研究 E 內行動計 望月嵩 の労使の意見 画実現に向 [ほか] 労働 出 53 著 17

専門職の 56 省婦人少年局編 婦人労働の実情 女性たち 大蔵省印刷局 岩 現状とそ 0 意識 労 昭

意味で婦人問題は私たちの現実の課がらみを、根気よく解きほぐしていがらみを、根気よく解きほぐしてい

井治枝著 三省堂

金森卜

I

電 昭 和 56 52 年

度

埼

県県民部婦人対策課 婦人問題を学ぶ

昭 57

女性の歴史

井上清著

して民主的な男女平等を創り上げる

協会

昭 56

らだけの男女平等ではなく、

実質と

子教育問題研究会編 学習する女性の時代

日本放送出版

查所

昭 54

働く婦人と母性保護 昭和55 明治図書出版のもんだい 労働旬報社 日本農村婦人問題 昭 50 田 政子 [ほか] 昭 昭 L1 54 著 46 岡秀子著 亜 一紀書房 津 7

人団体連 昭 坂 32 西 志 大月 京都労働局 昭51 女性の年金夫婦の年金 の光協会 昭 57 中島通子著 井國長著

> 日本放送出版協会 日本放送出版協会 日本放送出版協会 からの脱出 愛が 尚江 勤子著 現代生活と婦人 妻として母として女として 土と台所 人問題研究会 57 家庭と女性 昭 56 白根節子共著 かれるとき 小学館 女二人の往復書簡 つくられたマ 藤井治枝編著 昭57(婦人問題双書) 柴田悦子 昭際 埼玉新聞社 55 地久枝著 女性学会編 現代婦 波多野 大月 文 Ш

的検討 妻の 芸春 子どもが書い ニオン出版 (有斐閣選書) 地位と離婚法 フス編 島津 54 た離婚の 円 郎 より 著 妻 子訳 有變閣 本 0 工 7 IJ 0 昭 実 49 質 1 パク

夫婦親子の 法律相57 談 郎 沼

答

戦後婦入運動史

シリー

女の生と性60事 **労陽書房** 金住典子

野著 日本放送出版協会 中と子の深層 秋山さと子 フランスの親子 56 秋山さと子著 日本の親子 昭 56 (N地 蒂

和書房 昭54 山川端 日本婦人運動と政治参加 川菊栄著

大

碁

0

起

源は

蘇る草のは 大月書店 根運動 昭 昭35(戦後運動史双帯刀貞代〔ほか〕 反核. 平 和をめざ

う

報社 して 大友よふ [ほか] 編 労働旬

運動にかけた女たち III 50 渡辺悦次 鈴木裕子編

への証言 メス出版 資料·資料目録 昭 55

王県県民部婦人対策に関する埼玉県計画

世界の婦人運動 昭 57 林勇編訳 大月

1

埼玉県の婦人行政 埼玉県県民部婦 に関する埼玉県計画のあらまし 埼 王県県民部婦人対策課 昭55 埼

はありません。二百年後の、七世 紀初頭の日本について記した「 暗書」に基の記載があります。 日本風の囲碁文化は平安時代 にはじまり、僧侶と女性は貴族 社会における碁のにない手でした。紫式部と清少納言はともに をよくし、「枕草子」に見え る勝敗の感情記述はそっくり現 代人にも通じます。更に時代を 経て江戸時代に、碁は国技に高 まり、現代の隆盛へと続きます。 一方、将棋の発源地はインド とされており、西に伝わってチ

式・資料所蔵目録 No1・2 昭52 会館 昭56 婦人 人対策課 婦人問題を 人対策課 婦人問題書誌の書誌 告書 国立婦人教育会館所蔵図書目 婦人の現状と施策 土文化 編昭和5年3 総理府 昭 考える 昭 57 56 日本婦人団体連合会 III 54 月末現在 国内行動計 埼玉県県民部婦 国立婦人教育 昭 録 画報 第 草

美著 昭56 85

内野久

エスとなり、東に伝わって中国の将棋になったといわれています。中国から日本に伝わったのは奈良時代の普通の将棋をもととし、それに飛車と角行の二つの数を加えて出来たものです。

「世界大百科事典」 平凡社 昭66 ほか。

婦人通信 あごら 婦人問題懇話会会報 雑誌・研究誌・新聞(タイトル・編者のみ) 日本婦人団体連合会

フェミニスト

フェ

ミニス

高群逸枝雑誌編集室

JAUW 大学婦人協会々報婦人しんぶん 日本婦人会議 婦人民主新聞 複刻版 渋谷黎子雑誌 高群逸枝雑誌 集室 えがりて 婦人有権者 婦人教育情報 婦人問題企画 日本婦人有 国立婦人教育会館日本婦人有権者同盟 婦人民主クラブ 青鞜社(龍溪書舎版) 「渋谷黎子雑誌」 担当室 推進本部 編

あ 2 が き

0